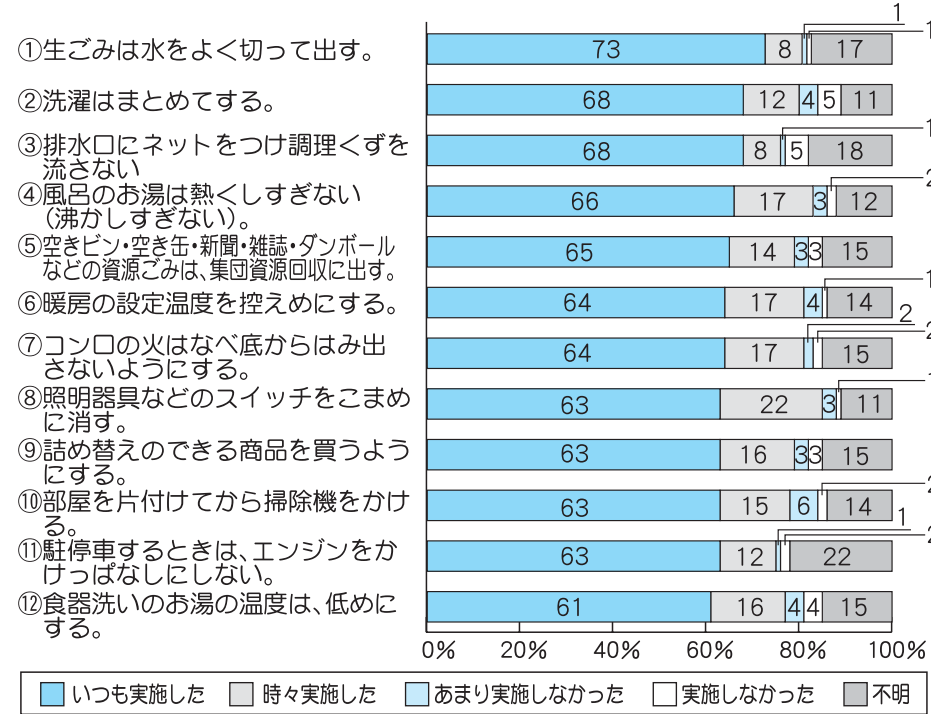


【グラフ2】エコライフ取り組み項目の実施状況(上位12項目)



した」などの工夫をしたという感想が複数寄せられており、それらが成果として表れたものと考えられます。

■実施率が高い取り組み

エコライフ取り組み項目のうち、60%以上の世帯が「いつも実施した」と回答したものは12項目ありました。最も多かったのは「生ごみは水をよく

く切って出す」の73%で、次いで「洗濯はまとめてする」「排水口にネットをつけ、調理くずを流さない」がそれぞれ68%となりました【グラフ2】。

アンケートでは、「水質浄化の関係もあり、初めて米のとぎ汁を花壇・プランターに使用したところ、10年間一度も咲かなかった花が初めて咲い

「エコライフ」を続けましょう

～みんなで協力して地球温暖化を防止しよう！～

平成13年度から始まった「エコライフ」(環境にやさしい暮らし)推進事業。8年目となる平成20年度は、市内10地域1,255世帯の皆さんに実施していただきました。事業の取り組み成果をまとめたのでお知らせします。

※「エコライフ」とは、省エネや節水などのような、環境に配慮し(エコロジー)、電気・ガス・水道・灯油などを経済的に節約する(エコノミー)暮らし方のことです。

エコライフ推進事業は、市民の皆さんに、地球温暖化をはじめとする環境問題と日常生活とのかわり方を考えていただきながら、環境にやさしい暮らし方の定着を図ることを目的としています。

平成20年度は、次の市内10地域(1,255世帯)の皆さんにエコライフを実践していただきました。

■平成20年度の実践地域

- ・盛町Ⅱ桜地域
- ・大船渡町Ⅱ須崎地域
- ・末崎町Ⅱ山根地域
- ・赤崎町Ⅱ後ノ入地域
- ・猪川町Ⅱ下権現堂地域
- ・立根町Ⅱ川原地域
- ・日頃市町Ⅱ鷹生地域
- ・三陸町綾里Ⅱ港地域
- ・三陸町越喜来Ⅱ浦浜西区地域
- ・三陸町吉浜Ⅱ中通地域

実践地域の皆さんには、平成20年11月1日から12月10日までの40日間、節電や節水、ごみの減量などに関する「エコライフ取り組み項目(30項目)」

に取り組みんでいただきました。

■取り組み項目の具体例

- ・照明器具などのスイッチをこまめに消す。
- ・暖房の設定温度を控えめにする。
- ・駐停車するときにはエンジンをかけっぱなしにしない。
- ・詰め替えのできる商品を買うようにする。

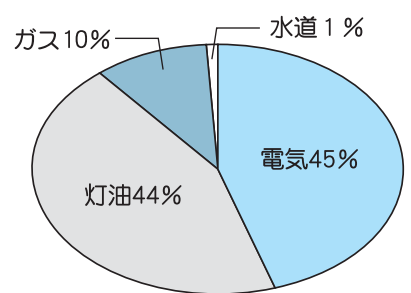
取り組み期間終了後には、アンケートへの回答をお願いしました。このアンケートでは、エコライフの取り組み状況のほか、地球温暖化の主な原因とされる二酸化炭素の排出量を削減できたか調べるために、取り組み期間中(平成20年11月)と前年同月分(平成19年11月)の電気・ガス・灯油・水道それぞれの使用量を記入していただきました。

アンケートのまとめ

■エネルギー別の二酸化炭素排出割合

アンケート回答世帯の二酸化炭素排出量の割合

【グラフ1】エネルギー別二酸化炭素排出量の割合



化炭素排出量の割合をエネルギー別にまとめたところ、電気(全体の45%)と灯油(全体の44%)の使用によるものが高い割合を占めていることが分かりました【グラフ1】。

また、アンケートによると、エコライフの取り組み期間は初冬ですが、灯油は暖房だけでなく、風呂(アンケート回答世帯の62%)や風呂以外の給湯器(同46%)の燃料としても使われているという結果も出ています。

■二酸化炭素排出量は世帯平均で9・3%削減

アンケート回答世帯の二酸化炭素の総排出量は、平成19年の同じ時期と比べて9・3%減少し、この事業を開始してから2番目に大きな削減率となりました【表1】。

エネルギー別にみると、電気は8%、灯油は13・3%と大きく削減できました。

また、地域別にみると、二酸化炭素の総排出量はすべての実践地域で削減できたほか、エネルギー別の排出量では、電気・灯油は全地域、ガスは7地域、水道は2地域で削減できました。

アンケートでは「電気毛布を湯たんぽに替えた」「無駄な電気やストーブは消すように

【表2】エコライフの継続に必要なこと

	回答率(%)
できることから始めること	31.5
家族が協力すること	26.7
環境のことを考えること	17.8
昔の暮らしを見直すこと	11.5
削減効果を楽しみながら取り組むこと	8.6
その他	0.5
不明	3.4

■我が家での取り組み・感想

- ・できるだけ家族が一緒の場にいる。
- ・切れ目なく入浴する。
- ・無駄な買い物は避ける。
- ・コンセントからまめにプラグを抜くようにした。
- ・暖房費節約のため、広い茶の間に間仕切りのカーテンをつけた。
- ・買い物袋は忘れずに持参し、ガソリン使用を控えるためまとめ買いしている。
- ・エネルギー使用量の昨年との差が多少でも明確になり驚いた。今後も家族の協力を得ながら続けたい。
- ・地球温暖化の防止だけでなく、家計に負担がかからないように実践した。

今後の取り組み

エコライフ推進事業に取り組んだ皆さんからは、「エコライフは家族の協力が大切」という感想が毎年必ず寄せられます。また、今年度の事業実績を見ると、家族が協力してエコライフに取り組んだ世帯のほうが、1人で取り組んだ世帯より実践した項目数が平均で約4項目多いことが分かりました。

その一方で、家族の人数が増えるにつれ、それぞれの活動時間帯などが異なってくるため、取り組みを協力して行うことが難しく、効果が表れにくくなるという傾向もみられます。

こうしたことから、エコライフは「みんなが主役」という意識で、取り組みを続けていくことが不可欠といえます。以上のことを踏まえ、市では今後もより多くの皆さんにエコライフ(環境にやさしい暮らし)に取り組んでいただくよう、事業の推進に努めていきます。

▽問い合わせ先

市民生活環境課環境衛生係
(☎内線125)